

国内線の課題と展望

【後援】 一般社団法人日本経済団体連合会
公益社団法人経済同友会
東京商工会議所

2025年

3月27日(木) 14:00~

参加無料

日時

2025年3月27日(木)
14:00~17:00 (13:30 開場)

会場

慶應義塾大学 三田キャンパス
北館1階ホール (東京都港区三田 2-15-45)
*WEB同時配信: Zoomウェビナー

第1部 話題提供



加藤 一誠

慶應義塾大学商学部 教授
航空政策研究会 理事/事務局長

*第3部パネルディスカッションにも登壇

各地に訪日外国人が溢れ、本邦航空会社のなかでも国際線を運航する企業は訪日客、乗継客も含めた国際線に支えられている。それに対して国内線のみを運航する企業の経営環境は厳しい。需要面では減少したビジネス需要を観光需要で完全にカバーできていないし、何よりも整備費や燃料費といった運航コストの高騰が各社の経営に打撃を与えている。

かつてドル箱といわれた羽田路線さえ、収益力は低下している。羽田以外のローカル線にはいわゆる内部補助によって維持されている部分もあり、その原資が減少していることになる。21世紀以降もコスト増による経営環境の悪化が指摘されることはあったが、このたびの状況がより深刻なのは、円安が定着するなか、高コスト構造が長期的、構造的とみられるからである。

本シンポジウムではこのような国内線の経営環境やその原因を紹介し、問題を共有し、今後の対策を考えたい。

第2部 14:40~ 国内線の現状報告

第3部 15:45~ パネルディスカッション



手塚 広一郎

日本大学経済学部長 教授
航空政策研究会 理事
(モデレーター)



柿花 祥太

株式会社ソラシドエア
取締役



川瀬 雄大

日本航空株式会社
路線事業本部
路線事業戦略部長



本橋 学

スカイマーク株式会社
代表取締役社長執行役員



渡辺 知樹

全日本空輸株式会社
ネットワーク部
担当部長



吉川 忠行

Aviation Wire株式会社
代表取締役社長 兼
創刊編集長

参加申込

当会ホームページ下記URLよりご希望の参加形式にご登録ください。

申込締切: 3月21日(金)

【会場参加】 https://www.koseiken.jp/symposium/会場参加_シンポジウム/

【WEB参加】 https://www.koseiken.jp/symposium/web参加_シンポジウム/

お問い合わせ

航空政策研究会 事務局

E-mail: jimukyoku@koseiken.jp